



来客専用

建物の色が変わります

現在、児童デイ・中高生デイの建物の塗装工事をしています。外装の耐久性が落ちてきた為、大家さんの意向で塗り替えることとなりました。

▼かわいい(?) 外観

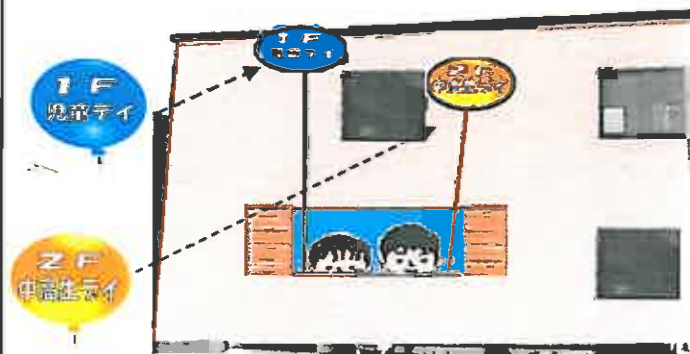
この建物、もともとは倉庫だったので、色は倉庫らしい「灰色」だったのですが、この機会に温かみのある「ベージュ系の色」に変わります。

ついでに看板も遠くからでもわかる大きなものへと作り直しました。この変更で少し「子どもの施設」らしい外観になるのではないかと期待しています。

▼突然の変更なので・・・

期間中、外観は足場が組まれて大きく変わり、窓からは外が見えなくなったり、塗料の臭いが不快に感じたりと、変更・変化が苦手な特性をもつ子が混乱しないか不安でした。そうした混乱が予測される子には、変更初日に変わった部分を観察してもらっています。

じっくり見学して、変更した部分を把握することで、少しずつ不安は解消される様です。



南面、窓から子どもが覗いているイメージ図 (上)
正面のイメージ図 (下)



ヘルパーだより NO. 8

Aさんは多発性硬化症で、ベッドの上での生活をされています。訪問看護さんが月～金曜日に清拭、摘便、洗髪等のケアに入っていますが右足の大腿骨を骨折しておられ、清拭やオムツ交換時の体位交換や清拭、洗髪時の準備、片付けと補助、排泄物の片付け等看護師さんの補助としてまごころのヘルパーが在宅支援サービスで訪問させて頂いています。

Aさんは呼吸器をつけていて、痰がからみ苦しうにされると看護師さんが吸引を何回か行いながらケアを進めていきます。声を出すことは出来ませんが、口の動きをよく見ていると「洗髪のお湯がぬるい」とか「部屋の温度は何度？」などコミュニケーションを取ることが出来ます。特に洗髪の時など看護師さんが、季節の移り変わりを感じる話題などをAさんに話すと「うんうん、へえーそうなの？」と表情豊にあいづちを打って下さいます。

枕元にはいつも楽しい名古屋弁の某ラジオ番組が流れていて、ヘルパーの気持ちも和ませて下さいます。普段はご主人とお母さん、娘さんが協力してお世話をしてみえ、Aさんのちょっとした変化や体の様子など気遣って、訪問看護師さんに相談しアドバイスをもらっておられます。

これからもAさん家族が少しでも快適に毎日を過ごせるよう、微力ではありますが、お手伝いさせて頂けたらと思います。



ご家族からのことば・・・

いつもお世話になりましてありがとうございます。今後共、よろしく願いいたします。



心っれづれ



サロンへどうぞ

昼間でも薄暗い竹やぶ、それが私の通学路でした。子供の足でも2分足らず、そのわずかな道のりを毎日20分もかけ、杖をつけて迎えに来てくれた優しい祖父。祖父は中気の体で、言葉もおぼつかない様子でしたが「う～、あ～」と大声をあげてはお気に入りの杖を振り回し、スカートめくりや小石を投げたりする心無い近所のいじめっ子たちから私たち姉妹を守ってくれました。

一方、祖母は祖父が亡くなった後、母と喧嘩する度に母の用意する3度の手料理に一切手をつけない「ハンガーストライキ」を起こす、ちょっぴりワガママで負けん気の強い女性でした。そんな時、決まって祖母は私を呼び、お財布から500円札を取り出し私の手に握らせては「いつものを頼んだで」と言い、当時はまだ珍しかった「UFO焼きそば」を買いに走りまわりました。

そんな祖母も、とうの昔にこの世を去ってしまいました。私には今また沢山のおじいちゃん、おばあちゃんができました。それは毎週木曜日に『ふれあいサロン』を訪れてくださるたくさんのお年寄りの方々です。

サロンでスタッフとなり、はや5年。その自由な雰囲気は、のんびり屋の私にとっても妙に心地の良い時間です。サロンを訪れるみなさんに「ここに来るのが楽しみ」「ホッとするわ」と言っただけなのが、何より嬉しく励みになります。みなさん、これからもどうぞよろしくお願いします。

協力会員 岡田 あゆみ



デイだより



元気になるデイサービス

デイサービスに通うことで、利用者さんが元気になれば自宅での生活の質も向上し、利用者・家族にとって大きな効果がもたらされます。

利用者さんが元気になることは、本人だけでなく、職員にとっても嬉しいものです。

Kさんがデイサービスにはじめて通われたある日、一日早いお誕生会を行いました。その日は午前中から、自身が撮った写真の整理を職員と一緒にいき、出来上がった作品を皆さんに披露してくださいました。お誕生日のお祝いを皆さんから祝福されて、とても嬉しかったそうです。

デイサービスでは、食事の配膳・下膳も職員と一緒に、動ける利用者さんは自然とかかわってもらっています。自由参加のプログラムは、「おやつ作り」「作品作り」「レクリエーション」があり、それぞれ自主選択でき、上記のKさんのように、自分のしたいことを持参して、デイサービスを自分の居場所として活用されてもかまいません。

好きなことをする。得意なことの役割を持つことで、元気になれる…利用者さんも、職員にも言えることだと思います。

今日もまたデイサービスに加わりて
夢の大きくふくらみてる

上田紀子

